

LDAP Managerとのクライアント証明書の管理連携

Ver. 1.0 2017 年 6 月

Copyright by JCCH Security Solution Systems Co., Ltd., All Rights reserved

- JCCH・セキュリティ・ソリューション・システムズ、JS3 およびそれらを含むロゴは日本および他の国における株式 会社 JCCH・セキュリティ・ソリューション・システムズの商標または登録商標です。Gléas は株式会社 JCCH・セキ ュリティ・ソリューション・システムズの商標です。
- その他本文中に記載されている製品名および社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を掲載しています。

Copyright by JCCH Security Solution Systems Co., Ltd., All Rights reserved

1. はじ	めに	4
1.1.	本書について	4
1.2.	本書における環境	4
1.3.	本書における構成	5
2. Gléa	s での事前設定	5
3. LDA	P Manager の設定	8
3.1.	CSV→LDAP プラグイン設定	8
3.2.	LDAP→CSV プラグイン設定	9
3.3.	プラグインの定期実行設定	14
4. LDA	P Manager と Gléas のデータ連携	14
4.1.	ID 追加と証明書発行	14
4.2.	ID 削除(無効化)と証明書失効	16
5. 問い	合わせ	

1. はじめに

1.1. 本書について

本書では、弊社製品「プライベート認証局 Gléas」で発行したクライアント証明 書を利用して、エクスジェン・ネットワークス株式会社のID管理製品「LDAP Manager」と連携してクライアント証明書の発行をおこなう環境を構築するため の設定例を記載します。

本書に記載の内容は、弊社の検証環境における動作を確認したものであり、あら ゆる環境での動作を保証するものではありません。弊社製品を用いたシステム構 築の一例としてご活用いただけますようお願いいたします。

1.2. 本書における環境

本書における手順は、以下の環境で動作確認を行っています。

- メタディレクトリ:LDAP Manager 6.8
 ※以後、「LDAP Manager」と記載します
 ※以下のプラグインを利用しています
 - ♦ CSV→LDAP反映&CSV→LDAPグループメンテナンスプラグイン
 - ◆ LDAP→CSV反映プラグイン
 - ◆ LDAP→AD反映&ADグループメンテナンスプラグイン

※以下のWindows Server(ドメインコントローラ)上に構築しています

- Active Directory: Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
 ※以後、「AD」と記載します
- JS3 プライベート認証局 Gléas (バージョン1.14.6)
 ※以後、「Gléas」と記載します

以下については、本書では説明を割愛します。

- LDAP Managerおよび追加プラグインのインストールと基本的な設定
- LDAP ManagerからADへのID連携
- Gléasでのアカウント登録や各種証明書発行
- Windows ServerやWindowsドメインのセットアップ

これらについては、各製品のマニュアルをご参照いただくか、各製品を取り扱っている販売店にお問い合わせください。

1.3. 本書における構成

本書では、以下の構成で検証を行っています。



Windows Server 2012 R2

【クライアント証明書発行】

- LDAP ManagerコンソールからCSVプラグインを利用して、ユーザIDの追加 をおこなう
- LDAP Managerは、ADへのアカウント同期をおこない、かつGléasのIDM連携APIを利用してアカウント登録/証明書発行依頼をおこなう

【クライアント証明書失効】

- LDAP ManagerコンソールからCSVプラグインを利用して、ユーザIDの削除 をおこなう
- LDAP Managerは、ADの対象ユーザアカウントを無効にし、かつGléasのIDM 連携APIを利用してアカウント削除/証明書の失効依頼をおこなう

2. Gléas での事前設定

Gléas に対し API アクセスをするためには、事前に API アクセス用のクライアント 証明書を指定しておく必要があります。

※ 下記設定は、Gléas 納品時等に弊社で設定を既に行っている場合があります

Gléasの管理者画面(RA)にログインし、API管理者とするユーザアカウントの証明 書詳細画面に移動し、[証明書:<u>あり</u>]のリンクより証明書ファイル(.crtファイル) をダウンロードします。

▶評問書ファイル	
> 証明書要求: <u>あり</u> 作成日時 2016/11/21 19:14	
> 証明書: <u>あり</u> 作成日時 2016/11/21 19:15	
▶ 秘密鍵:あり 作成日時 2016/11/21 19:14	

その後、画面上部の[▶<u>管理者</u>]リンクより管理者一覧 > API管理者の詳細画面に移 動します。

次に、[参照]ボタンをクリックし、さきほどダウンロードした証明書をアップロード (登録)します。

2 管理者設定	
▶管理者情報	
>管理者	web-service管理者
> 証明書	参照 登録 Evaluation CA#146
	CN=ws_admin
	O=JCCH Security Solution Systems
>管理するトークン	Gemalto社製デバイス

またLDAP ManagerサーバからのAPIアクセスのために証明書詳細画面の[▶<u>ダウン</u> ロード]リンクより証明書ファイル (.p12ファイル) をダウンロードしておきます。

1	訂明書情報	 トーゲンへのインボート 回复ウンロード
	Cold, 147,3 and 179,4 (A)	

証明書を保護するための	リバスワードを入力してください。,
パスワードの入力	
パスワード	 ダウンロード キャンセル

※ダウンロード時に入力を要求されるファイルの保護パスワードはLDAP Managerホスト (Windows Server)に証明書をインポートする際に必要となります

以上でGléas側の設定は終了です。

LDAP Managerホストにこの証明書ファイルを移動し、ダブルクリックすると起 動するウィザードにしたがい証明書をインポートします。



インポート後に、コントロールパネル > インターネットオプション > [コンテン ツ]タブ > [証明書] > [個人]タブより証明書の拇印を確認しておきます(後述す るPowerShellスクリプトからGléasへのアクセスに必要な情報になります)。

	証明書
全般 詳相 肛明	in tr
表示(5): プロパティが	Dðr 🗸
フィールド	億
□撮印アルコリズム	shai
1000000000000000000000000000000000000	1f f1 2d ff 8b 61 eb 27 1b ef ab b8 26 48 82 6c b7 4c (
< III	>
lf fi 2d ff 8b 61 ei	b 27 1b ef ab b8 26 48 82 6c b7 4c 0b d9

また、RA用証明書を発行しているGléasの管理用CAを信頼する必要があります。 Gléasにhttpで接続するとルート証明書のダウンロードができるので、そのファイ ルを開いて[証明書のインストール]をクリックし、[信頼されたルート証明機関]に インポートします。

	■ 証明書	\times
	金融 詳細 証明のバス	
●ルート証明書のダウンロード 添証局のトップペーンにアクセスするためのルート 証明書を下のボタンをクリックしてダウンロードして なださい。 ルート証明書のダウンロード ■ 採明書の インボート方法 count	この証明者の目的: ・すべての知(すポリシー ・すべてのアプリケーション ポリシー	
 ブラウ ザにルート 証明書をィンボートできたら 下の リンクから認証局のトップページにアクセスしてくだ	発行先: JCCH-SSS demo Admin CA	
さい。 1 212日気のトップページへ通む	発行者: JCCH-SSS demo Admin CA 有効期間 2010/01/12 から 2020/01/10	
	証明書のインストールロ ー 発行者のステートメント(S)	

3. LDAP Managerの設定

3.1. CSV→LDAP プラグイン設定

LDAP Manager コンソールを起動し、[環境設定] > [CSV→LDAP] > [CSV->LDAP 反映 1]を開き、マッピング設定をおこないます。

本検証では、ID 追加・削除に関して st 属性をそのフラグとしています(ID 追加時 には 1、ID 削除時には 9、データ連携完了時には 3.2 項で設定するリバースマッピ ング機能を使い 0 をセットします)。

		環境設定	E(CSV-	>LDA	PSUR	1)	
周世名	品設定 基本設定 マッピ	ング設定 オブション					
睢マ	ッピング情報						
有効	CSY属性名	LDAP属性名	這加	更新	前原来	備考	istn
1	ユーザ10	cn	0	0	0		
~	英語姓	sn	0	0	0		修正
✓	英語名	g i venNane	0	0	0		
~	細菌コード	departmentNumber	0	0	0		育理余
✓	役職	title	0	0	0		
✓	日本語姓	exgSnJp	0	0	0		
✓	日本語名	exgGivenNameJp	0	0	0		有効
✓	バスワード	expliserPassword	0	0	0		
✓	バスワード	userPassword	0	0	0		無効
~	無効化フラグ	explisabledFlag	0	0	0		
✓	"=DBSearch("ou.db"	exgDeptName	0	0	0		
~	"=Now()"	exporeatet imestamp	0	ж	×	added by JS3	
✓	"=Now()"	exgDeleteTimeStamp	×	×	0	added by JS8	
~	メールアドレス	mail	0	0	×	added by JS3	
✓	*1*	st	0	×	×	added by JSS	
~	~8 [~]	st	×	×	0	added by JS8	

※マッピング設定で指定したい属性が表示されない場合は、[環境設定]>[ディレクトリ属性設定] より属性追加をおこないます

設定完了後、[OK]をクリックします。

3.2. LDAP→CSV プラグイン設定

ID 追加時のデータ連携処理用に[環境設定] > [LDAP->CSV 出力 1]を開き、「基本設 定」タブで各項目の設定をおこないます。

- 抽出フィルタ(検索条件)は、st=1を含むものにします
- フォルダ名・ファイル名は、あとで設定する Gléas アップロード用スクリプト にあわせておきます
- 区切り文字:カンマを選択
- ファイル出力モード:上書きを選択
- ファイル出力文字コード:Unicode を選択
- エラー発生時:出力しないを選択
- ヘッダー:ON を選択
- 下位互換モード: [抽出結果が0件の時は CSV 出力しない]をチェック

	環境設定(LDAP->CSV出力1)	
基本設定 マッピング設定 1	専行コマンド設定(手動) 実行コマンド設定(リモート) オブション	
LOAP情報		
対象ディレクトリ:	OpenDJ1.0 v	
補出フィルタ:	(&(objectclass=person)(st=1))	~
		~
CSYMME		
ユーザ名:	パスワード:	
フォルダ名:	C:Wteap	参照
ファイル名:	create_csv 区切り文字: ⑥ カンマ	○タブ
ファイル出力モード;	○遺加 ⑧上書き ○エラー 複数値区切り文字: ⑧セミコロン	○タブ
ファイル出力文字コード:	⊖ANSI ®Unicode ∿ッダー:⊛ON	○ 0FF
エラー発生時:	○出力する ⑧出力しない ○スキップも出力せず	
リモート実行時;	□ 権出フィルタに一致しなくても出力する	
下位互換モード:	□LD#P Manager4.5以前のCSVフォーマットで出力する	

「マッピング設定」タブで、以下の設定をおこないます。

● 属性マッピング情報で以下を設定します

LDAP 属性名	CSV 属性名
cn	cn
exgSnJp	sn
exgGivenNameJP	givenName
exgUserPassword	password
mail	mail

※Gléas の API 仕様上、CSV の cn、sn、givenName 属性は必須項目になります
 ※CSV の password 属性は、Gléas の証明書配布サイト(UA)のログインに利用されます。
 Gléas UA では、LDAP/AD 内のパスワードを利用することも可能なので、その場合はこの項目は不要となります

I DAP 冨性夕

● リバースマッピング情報で以下を設定します

佔

	環境設定(LI	DAP->CSV出力1)	
設定 マッピング設定 責	行コマンド設定(手動) 実行:	コマンド設定(リモート) オブショ	2
1性マッピング情報			
育助 LDAP爾住名	(SV欄性名)	備考	ißte
eveSolo	cn so		彼耳
Z e:gGivenNameJp	g i venNane		79.44
explorerPassword	passeord		首都
Z mail	mail		
			1025
			有成功
			78022 198022
パースマッピング後期	10484-4	08-96	34023 34024
バースマッピング領報 育功 (値 2) 0	LD49属社名 #1	(御寺	3802
パースマッピング領報 開助 値 2 0	LDJP属性名 at	(8-4	#023 第033 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
パースマッピング領報 開助 値 2 0	LDJP属性名 zt	(8-4	#1021 第033
バースマッピング領報 両助 1度 2 0	LD4P属性名 zt	(8-5	株式2 株式3 ▲ ▼ - 株式3 株式3 株式4 株 株 株 株 株 株 株 株 株 株
バースマッピング領報 南功 (値 2 0	LD4P属性名 zt	(8-9	
パースマッピング価格 開助 値 2 0	LDJP属性名 zt	(8-4	10年 一 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日

「実行コマンド設定(手動)」タブのプラグイン後処理情報(手動)で、以下の設定 をおこないます。

- 実行区分:[実行する]をチェック
- 処理区分: [CSV 出力失敗時は実行しない]をチェック
- ユーザ名・パスワードには、実行ユーザ情報を入力
- 実行ファイル:起動するスクリプト(バッチファイル)のファイルパスを入力
- パラメータ:スクリプト実行時の引数を指定



「設定」マッピンク	「設定」「実行コマンド設定(手軌)」 実行::	コマンド設定(リモート) オブション	
1ラグイン前処理様	HH(手動)			
実行区分:	□実行する	エラー時:	□後続処圏は実行しない	
ユーザ名:		パスワード:		
	□管理者として実行する			
実行ファイル;			*	展
パラメータ :				^
クラヴイン後期理想 実行区分:	#8 (手動) 東 行する	婚曜区分:	図COV出力共数時は実行しない	
ユーザ名:	js3-test12¥imadmin	バスワード:	*********	
	- □ 管理者として実行する		-	
実行ファイル:	c:Wgleas_apiWrun_script.bat		\$	蝾
バラメータ:	create			-

Gléas への API 連携用スクリプトとして、本検証では以下を作成しています。

【スクリプト起動用バッチファイルのサンプル】

LDAP Manager の実行コマンド設定では、直接 PowerShell スクリプトを起動できないためバッチファイルを指定し PowerShell スクリプトを起動させています。

```
%SystemRoot%¥System32¥WindowsPowerShell¥v1.0¥powershell.exe ^
-Command "c:¥gleas api¥csvUpload.ps1 %1"
```

```
【Gléas 連携用スクリプト(PowerShell)のサンプル】
```

```
#Gleasアクセス情報
$gleasHostName = "gleas.example.com"
$certHash = "lff12dff8b61eb271befabb82648826cb74c0bd9" #API証明書の拇印
switch($args[0])
{
  "create" {
    $uri = "https://" + $gleasHostName + "/ra/entities/notify/create"
    break
  "destroy" {
    $uri = "https://" + $gleasHostName + "/ra/entities/notify/action"
  }
}
#入出力ファイル
$folderPath = "c:¥temp¥"
$csvFilePath = $folderPath + $args[0] + ".csv"
$resultFilePath = $folderPath + $args[0] + " result.txt"
#POSTデータ作成
$contentType = "multipart/form-data"
$boundary = [guid]::NewGuid().ToString()
$lf = "`r`n"
```

```
codePage = "iso-8859-1"
$fileBin = [System.IO.File]::ReadAllBytes($csvFilePath)
$enc = [System.Text.Encoding]::GetEncoding($codePage)
$fileContent = $enc.GetString($fileBin)
bodyLines = (
   "--$boundary",
   "Content-Disposition: form-data; name=`"csv`"",
   "Content-Type: application/octet-stream$lf",
   $fileContent,
  "--$boundary",
  "Content-Disposition: form-data; name=`"request cert`"$lf",
  "true",
   "--$boundary--$lf"
) -join $lf
#Gleasへのデータアップロード
$response = (Invoke-WebRequest -Method Post -Uri $uri `
-Body $bodyLines -ContentType "$contentType; boundary=$boundary" `
-CertificateThumbprint $certHash)
#HTTPステータスコード(正常時は200)
$response.StatusCode | Out-File $resultFilePath
#処理結果メッセージ、トランザクションID、アップしたファイルのダイジェスト値の取得
$content = write $response | select -Expand Content | ConvertFrom-Json
$content.message | Out-File $resultFilePath -append
$content.trans id | Out-File $resultFilePath -append
$content.digest | Out-File $resultFilePath -append
exit
```

 ※データ連携(CSV ファイルのアップロード)の実行結果は、HTTPのステータスコードで知る ことができます。正常だと 200 が返ってきます
 ※アップロード正常完了=処理予約であり、実際の処理がおこなわれるまで1~2 分のタイムラグ が発生します。処理結果を取得するには、アップロード完了時に得られるトランザクション ID を

設定完了後、[OK]をクリックします。

ID 削除時のデータ連携処理用に[環境設定] > [LDAP->CSV 出力 2]を開き、「基本設 定」タブで各項目の設定をおこないます。

● 抽出フィルタ(検索条件)は、st=9を含むものに

用いて、処理終了後に Gléas に問い合わせる必要があります

● 他項目は[LDAP->CSV 出力 1]と同じ(ファイル名などは適宜変更)

基本設定	マッピング設定 1	実行コマンド設定(手動) 実行コマンド	設定(リモート) オブション	
LOWP188	8			
,	!像ディレクトリ:	0pen040.0	*	
	抽出フィルタ:	(B(objectclass=person)(st=8))		
CSY1648				
	ユーザ名:		バスワード:	
	フォルダ名:	c1¥Leep		参照
	ファイル名:	dest roy.csv	区切り文字: ⑧ カンマ	○タブ
71	▶イル出力モード:	○遠加 ●上書き ○エラー	複数遺区切り文字: ⑧ セミコロン	○タブ
ファイル	レ出力文字コード:	⊖ ANSI	ヘッダー: ● ON	ODFF
	エラー発生時:	○出力する ◉出力しない ○ス	キップも出力せず	
	リモート実行時:	□抽出フィルタに一致しなくても出力	する	
	下位互換モード;	□LDAP Manager4.5以前のCSVフォーマ	ットで出力する	

「マッピング設定」タブで、以下の設定をおこないます。

● 属性マッピング情報で以下を設定

LDAP 属性	名	CSV 属性名
cn		cn
"destroy"	※単一値	action

● リバースマッピング情報で以下を設定

値

0

LDAP 属性名
st

		環境設定(LD	AP->CSV出力2)	
本設定	マッピング設定 実行	コマンド設定(手動) 実行コ	マンド設定(リモート) オブション	/
衛性マ 有効	ッピング情報 L04F属性名	CSV需性-名	備考	ißto
¥ ¥	on "dest.roy"	on action		修正
				用版化
				有効
				無功
				•

「実行コマンド設定(手動)」タブのプラグイン後処理情報(手動)は、[LDAP->CSV 出力1]と同じですが、連携スクリプトの内容の関係上、実行ファイルのパラメータ を"destroy"にします。

実行区分:	■実行する	処理区分:	■CSV出力失敗時は実行しない
그-ザ名:	js3-test12VIwedmin	パスワード:	**********
	□管理者として実行する		
実行ファイル;	C:Wgleas_aplWrun_script.bat		参照
パラメータ:	destroy		

設定完了後、[OK]をクリックします。

3.3. プラグインの定期実行設定

LDAP->CSV 自動出力 を定期実行させる設定をおこないます。 [環境設定] > [基本設定] > [スケジュール管理]タブを開き、[スケジュール追加]ボ タンをクリックし、以下を設定します。

- [スケジュール実行をおこなう]にチェック
- スケジュール種類と実行間隔は、データ更新頻度を設定
- 実行モジュールは[追加]をクリックし、先に設定した LDAP->CSV 出力1 および2 を設定

以下は最少間隔の10分ごとにデータ連携をおこなう例です。

	スケジュールの修正			x
実行: スケジュール種類: 実行間隔:	 ▼○ ○ ○ ○<!--</th--><th></th><th></th><th></th>			
実行モジュール:	ブラグイン/コマンド 【ブラグイン】LLWP->CSV出力1 【ブラグイン】LLWP->CSV出力2	引数		
実行結果のメール: 予約クライアントIPアドレス: 予約クライアントユーザ名:	□ 情報 □ 警告 □ エラー		OK キャンセル	k.

設定完了後、[OK]をクリックします。

LDAP Manager での設定は以上です。

4. LDAP ManagerとGléasのデータ連携

4.1. ID 追加と証明書発行

以下の内容の CSV ファイルを準備し、CSV->LDAP 反映プラグイン設定で指定したフ

ォルダに配置します。

ChangeType	ユーザID	英語姓	英語名	日本語姓	日本語名	パスワード	役職	組織コード	無効化フラグ	メールアドレス
add	lm0001	test	ichiro	テスト	一郎	P@ssw0rd	担当	1001	0	test01@jcch-sss.com
add	lm0002	test	jiro	テスト	二郎	P@ssw0rd	担当	1001	0	test02@jcch-sss.com

LDAP Manager コンソールで、[手動実行] > [CSV->LDAP] > [CSV プラグイン実行 1]を選択し、CSV ファイルからの ID 取り込みをおこないます。 成功するとコンソールに以下のログエントリが表示されます。

2017/06/01 16:56:00 - [CSV プラグイン実行 1]合計:2件 正常処理:2件(追加:2、更新:0、削除:0) スキップ処理:0件 エラー処理:0件

CSV プラグイン実行1 に、LDAP->AD 反映 の実行が設定されている場合は、AD に ID 情報が伝搬されます。

				im0001のプロパティ	? X
-			ダイヤルイン リモート デスパトップ 全般 住所 :	環境 セッシュン サービスのプロファイル COM+ アカウント プロファイル 戦話 純粋	リモート制御 フルけナ 所属するグループ
Active D	virectory ユーザーとコンピュータ・		👗 Im200:	1.	
アイル(E) 銀行(A) 表示(Y) ヘルプ (キー・ 2 m 4 □ × 0 0 Active Directory 2-ザーとコンピューター ■ 保存されたクエリ	H)	2 ¹ 名 28月	推(L): 名(E):	test ichiro 1=5/mk(0)	
is3-test12.local Builtin Computers Computers Connein Controllers ForeignSecurityPrincipals Sone	& Im0001 ユーザー & Im0002 ユーザー	LM_TRAINING LM_TRAINING	表示名(2): 説明(2): 事業所(二):	92トー参 LM_TRAINING	
Program Service Accounts People Groups Users			電話番号(I): 電子パール(<u>0</u>): Web ページ(<u>0</u>):	test01@jach-sss.com	その他(2) その他(2)
< III >				0K キャンセル 送用バA	

また定期実行のタイミングで LDAP→CSV 出力 プラグインが実行され、成功するとコ ンソールに以下のログエントリが表示されます。



連携が正常におこなわれると、Gléas RA の [登録申請者一覧]メニューより連携された ユーザ情報が表示されます。

アカウント]>金	读中研一覧	● 認証局 ● ログ ● 管理者 ● ヘルズ ● ログアウト
アカウント	申請者一覧 (全 2件中 1-2件目)	○全て許可する ■全て加下す。
Account	🏓 申請者一覧 全ての申請 💙 全ての申請者 ♥ 夏新	上級者向力
Group	(1) Im0001 テスト一郎	IDM連邦により中国 ●自日する ■当下する 。
証明書 Certificate		
◎ 課証デバイス	⑧ Im0002 テスト二印	IDMERICAN PAR O MERCE SCHEME
Device テンプレート	₩ <u>0</u>	

[全て許可する]、あるいは一件ずつ[許可する]ことにより登録申請が承認され、クライ アント証明書の発行まで自動でおこなわれます。

※この許可操作は、自動承認機能を利用することにより自動化が可能です

※発行通知メール送信機能が有効な場合は、証明書発行後に指定されたメールアドレス宛に証明書発 行通知が配信されます

4.2. ID 削除(無効化)と証明書失効

以下の内容の CSV ファイルを準備し、CSV->LDAP 反映 プラグインの設定で指定したフォルダに配置します。

ChangeType	ユーザID	無効化フラグ
del	lm0001	1
del	lm0002	1

LDAP Manager コンソールで、[手動実行] > [CSV->LDAP] > [CSV プラグイン実行 1]を選択し、CSV ファイルからの ID 取り込みをおこないます。

成功するとコンソールに以下のログエントリが表示されます。

2017/06/01 17:26:00 - [CSV プラグイン実行 1]合計:2件 正常処理:2件(追加:0、更新:0、削除:2) スキップ処理:0件 エラー処理:0件

CSV プラグイン実行1 に、LDAP->AD 反映 の実行が設定されている場合は、AD に 情報が伝搬されユーザアカウントは無効にされます(アカウント削除方法が無効に設 定されている場合)。



	Im0001	のプロパティ	? X
ダイヤルイン リモート デスパック 金融 住所	電視 サービスのプロファイル アカウント プロファイ	1295a> COM+ //F 1813 1818	リモート制錬 フルガナ 作用属するグループ
ユーザー ログオン名(J Im0001):		٧
2-9-09/1>/6 () 353-TEST124	Vindows 2000 £79	ID(W): Im0001	
四方大時間(1,)	四(オン株(工)		
□7093+00e988 7093+ 70543(0): 朝鮮本の(D()		
 アカウンドは期後 対話型ログオン アカウンドは重要 このアカウンドを) Uはスマート カードが必 Roiので委任できない Kerberos DES 暗号	·思 9化を使う	
7カウントの明日 ※ なし(3) ○ 有効明日(5):	2017年 6月29日		
	0K \$9	Mart Will(V)	~15 <i>7</i>

また定期実行のタイミングで、LDAP→CSV 出力 プラグインが実行され成功するとコ ンソールに以下のログエントリが表示されます。

2017/06/01 17:32:00 - [LDAP->CSV 出力 2] 合計:2 件 正常処理:2 件 スキップ処理:0 件 エ ラー処理:0 件 後処理:成功

連携が正常におこなわれると、Gléas RA の [登録申請者一覧]メニューより連携された ユーザ情報(削除申請)が表示されます。

[アカウント]> 2日中語一社		2 2000月 2017 日常理者 ロッルイ 2017 721
アカウント	申請者一覧(全3件中1-3件目)	STRIAN STRIAS
■ Alt=7	■悪 ▼ 吉吉中の7全 ▼ 吉中の7全 翼一番前中 🍂	□上統新均±
Groop Groop	9 Im0001 7.7h -#	
n 証明書 Certificate	<i>₩ 20-6828-2</i>	
👩 課証デバイス	9 Im0002 テフト 二郎	DARKING MA DESTS DATES
Device テンプレート Template	<i>■ <u>00-6828-2</u></i>	

[全て許可する]、あるいは一件ずつ[許可する]ことにより削除承認され、証明書の失効 まで自動でおこなわれます。

※この許可操作は、自動承認機能を利用することにより自動化が可能です

5. 問い合わせ

ご不明な点がございましたら、以下にお問い合わせください。

■LDAP Managerに関するお問い合わせ先 エクスジェン・ネットワークス株式会社 営業部 TEL: 03-3518-8055

■Gléasや本検証に関するお問い合わせ

株式会社JCCH・セキュリティ・ソリューション・システムズ 営業本部

Tel: 050-3821-2195

Mail: sales@jcch-sss.com